



# 笹小だより



令和3年7月20日号

伊丹市立笹原小学校

<http://www.s-sasa.itami.ed.jp/>

## 波瀾万丈の1学期を終えて そして夏…



今日7月20日、1学期の終業式を終えて、長い40日間の夏休みに入ります。

4月以来、二度にわたる「緊急事態宣言」や「まん延防止等重点措置」により、本来の教育活動が十分実施できず、行事日程を変更するなど、児童や保護者の皆様にもずいぶんご迷惑をおかけしました。コロナ禍は、まだ終息したわけではありませんが、世の中のワクチン接種とともに学校も徐々に落ち着きを取り戻してきたところです。

1学期を振り返りますと、皆様のご協力のもと、学年別に2日間にわたり開催できました【第55回体育大会】では、本当に久しぶりに子どもたちが力いっぱい走ったり、演技したりしている様子をしっかりと見ることができ、長らく行事を行っていなかっただけに、学校はやっぱりこういう姿が望ましいのだと心に熱いものを感じました。

その翌週から開始した「水泳授業」では、児童はマスクをとっても間隔を確保できるように、例年の半分の2クラスずつ、そして教師は水泳用マスクを着用しての授業となりました。

約2年ぶりの水泳授業に、子どもたちも最初は戸惑っていましたが、水中でもプールサイドでも静かに、間隔を開けて学習していました。こんな静かな水泳授業は、これまで見たことがありませんでした。

いざ授業が始まるとやはり子どもは水が大好きなようで、授業が終わり教室に帰る顔には笑顔と満足感に満ちあふれていました。特に暑い日にプールに入っていた子どもたちからは、まるでお風呂にでも入っていたように「気持ちよかった〜」「もっと入っていたかった」という声が聞こえていました。

そして学校ではすでにご案内のとおり、国の「GIGAスクール構想」により、一人1台のタブレットが導入され、学校内のWi-Fi環境も整いました。1学期後半には、水曜日と金曜日など週に2回タブレット持ち帰りを試験的に始めました。

夏季休業中には「タブレット」を充電ケーブルとともに持ち帰り、それぞれの学年に応じた夏休みの課題に取り組む予定にしています。1～3年生は、アサガオなど植物の観察を写真により行います。また4年生以上は、写真を活用した写真日記や、学習内容や体験をまとめる「新聞づくり」などに取り組むことにしています。この機会に是非、保護者の皆様とともにタブレットに慣れていただければと思います。まだ導入初期のため、不具合や設定がうまくいっていない場合もあるかもしれませんが、お気づきのことがあればお知らせくだされば幸いです。これからの時代を生きていく子どもたちは、タブレットはじめICTの正しい使い方やルールを、小学生の段階から知っていく必要があると思います。



## 『NEW笹原小』 最終段階へスパート！

昨年度は、コロナ禍の影響で前々から計画されて途中まで進んでいた南校舎・中庭倉庫などの大規模改造工事が、外壁工事と照明のLED化等までしか完了しませんでした。しかし、この工事も本年度早々から進み、すでに一部特別教室では大がかりな改造が行われています。この数年に及ぶ笹原小改造工事もいよいよ最終段階となりました。本日の終業式を合図に、一気にスパートがかかります。

予定では、8月30日の2学期始業式の時には、南校舎は大変身しています。教室の床・天井・壁・窓・棚・手すり…、廊下、階段、下足室、音楽室、家庭科室、理科室、多目的室、給食室…まだまだ言い出すときりがありません。建築関係の方と設計等工事の相談をしていますが、ウキウキするほどです。みなさん2学期をお楽しみに！！



南館の教室等の机・イス・荷物をすべて北館に移動するため、学校中で開いている部屋やスペースはほとんどありません。そこで児童の皆さんには、個人の荷物を一旦持って帰ってもらわざるを得なくなりました。各学年では、それぞれの荷物の量を勘案して計画的に持って帰らせたかったが、一部大変な思いをさせたかも知れません。ご容赦願います。



## コミュニティ・スクール

「コミュニティ・スクール」については、これまで何度か『笹小だより』でもお知らせしていますが、本年度の計画についてお伝えいたします。

「コミュニティ・スクール」とは、学校の運営について、課題を共有し、良くするための対策・方法等について協議し推進する「学校運営協議会」を設置している学校のことを言います。本校では平成30年度から、本格的に活動が始まりました。いろいろな立場の15名の委員の皆様と学校長等が、様々な課題について協議し、具体的にどうしていくのかを考えています。本校では、毎年度末に委員の皆様と教職員との交流会を実施し、学校の困りごとや課題等について意見交換し、次年度に向けて検討を重ねています。昨年度、サンテレビで放送された「九九の聞き取り」もその一つです。

いずれの活動についても多大なる協力のもと、活動の中核を担ってくださっているのが『笹ポーター』（笹原とサポーターを合わせた造語）とよんでいるボランティアのみなさんです。笹ポーターは地域の方が中心となり、小学校の活動を支援くださっています。徐々に学校が通常を取り戻そうとしている本年度は、現段階で下記のような計画があります。保護者の皆様にもお知りおきくだされば有り難く存じます。

①九九の聞き取り ②児童の掃除活動支援 ③児童の委員会活動支援（飼育委員会・園芸委員会） ④児童のクラブ活動支援 ⑤校内の植栽等学習環境整備 ⑥教職員との合同研修会（教育のユニバーサルデザインについて） ⑦教職員との交流会 ⑧学校の教育活動全体に対する評価検討

その他にも「コミュニティ笹原」の皆様による児童の下校見守りや「高年者部の皆様による掃除支援」等、様々な場所で笹っ子たちを支えていただけます。本当にありがたいことです。

本年度も、学校運営協議会の取り組みについては、協議会だより『笹っ子応援団』を通して、皆様にお知らせいたします。

